

2012 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

113-SQ-J

- I 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問6はマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

戦乱・天災・飢饉などによる政治・社会不安のなかで、平安末期から人びとは末法の世の到来を実感し、宗教に救いを求める気持ちを強くした。そこで鎌倉時代には新しい仏教を説くものたちがつぎつぎとあらわれた。

法然は、一心に念仏をとなえることにより極楽往生できるという [1] 念仏の教えを説いた。彼の教えは、九条兼実の要請で著したという『 [2] 』に記されており、貴族を中心に武士・民衆に迎えられた。彼の弟子である親鸞は師の教えをさらにすすめ、悪人正機説を説いた。これは煩惱の深い人間こそが阿弥陀の救いの対象であるという考えであり、親鸞の弟子 [3] の執筆といわれる『 [4] 』にそのことが記されている。親鸞の教えは農民や地方武士のあいだに広がった。

一遍は信心の有無などにかかわらず、念仏をとなえさえすれば往生できると説いた。^① 諸国を巡りながら布教したことから、彼は [5] とよばれた。彼の教えは地方の武士や農民に広く受け入れられた。

日蓮は、法華経を信じて、 [6] をとなえれば、すべての人びとも国家も救われると説いた。彼は他宗を激しく攻撃したため迫害をうけた。彼の教えは関東の武士層や商工業者を中心に広まった。

栄西は宋から禅宗の一派である臨済宗を伝えた。彼の教えは鎌倉の上級武士を中心に^② 発展した。栄西の死後、宋から多くの禅僧が来日し、鎌倉に大寺院がつぎつぎと建立された。^③ 道元は栄西の死後に宋にわたって禅を学び、臨済宗のように問答することなく、ひたすら坐禅することすなわち [7] を説き、越前の永平寺にこもって弟子を養成し、北陸の武士らの支持を集めた。

このような新仏教の活動に刺激されて、旧仏教の側にも新たな動きがおこった。法相宗の貞慶や、^④ 『摧邪輪』を著して法然に反論した華嚴宗の [8] は、戒律を重視して旧仏教の復興につとめた。 [9] は西大寺で律宗を再興した。その弟子の忍性は社会事業に力をつくし、奈良に病人の救済施設として [10] を創建した。

問1 文中の空欄 ~ に入るもっとも適切な語・人名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の文章のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 一遍に従った人びとは時衆といわれた。
- b 一遍は死の直前に念仏往生の要点を示した『拾遺往生伝』を残した。
- c 一遍は「南無阿弥陀仏」の文字が入った念仏札をくばった。

問3 下線部②に関する次の文章のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 栄西は、将軍の源頼家や北条政子らの保護をうけた。
- b 栄西は、宋から茶をもちかえり、『喫茶養生記』を著した。
- c 栄西は、旧仏教の側からの非難に対し、『興禅護国論』を著して反論した。

問4 下線部③に関して、次の寺院のうち、栄西が開いたものにはイ、そうでないものにはロをマークしなさい。

- a 建仁寺 b 寿福寺 c 久遠寺

問5 下線部③に関する説明文として正しい文章になるように、以下の文章の空欄 と に入る適切な人名を次の中からそれぞれ1つ選び、その記号をマークしなさい。

蘭溪道隆は の帰依を受けて鎌倉に建長寺を開き、無学祖元は の招きによって来日し、鎌倉に円覚寺を開いた。

- a 北条時頼 b 北条泰時 c 北条高時 d 北条義時
- e 北条貞時 f 北条時宗

問6 下線部④に関する次の文章のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 浄土教諸宗や日蓮宗は他力の教えといわれるが、禅宗は自力の教えといわれる。
- b はじめ関東を中心に広まった日蓮宗は、のちに京都へ進出した。京都の商工業者には日蓮宗の信者が多く、彼らは16世紀前半に法華一揆を結んで他の宗派と対立した。
- c 鎌倉時代には新仏教の抑圧がおこなわれ、朝廷により、法然は四国に、親鸞は越後に、日蓮は佐渡に流された。

II 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問7はマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

江戸時代初期は林家を中心とする朱子学が重んじられていた。ところがやがて、この朱子学を批判する学者が出てくる。京都の は古義学と称される学問を創始し堀川に塾を開いた。また江戸の は古文辞学と称される学問を創始し護園塾を開いた。これらの人々は朱子学のように後世の学者の解釈を重んじるのではなく、直接に孔孟の原典に帰らなければならないと唱えたのである。

また17世紀には国文学研究も始まり、 は『万葉集』などを研究して、「制の詞(和歌に使えない言葉)」が定められてきたことの無意味さや俗語使用の正当さを説き、中世以来の歌学を批判した。国文学研究は後に国学として発展し、 のように『古事記』や『源氏物語』の研究に携わり、『古事記伝』などを著す学者が出るようになった。

こういった儒学や国学の復古の動きと軌を一にするようにして、医学も新たな展開を見せた。江戸時代初期は、中国の元などの李・朱医学の陰陽五行・五運六気という理論により、観念的に病理を論ずる傾向が強かった。ところがやがて、後世の元などの学者のなした論ではなく、中国古代の漢における経験的で実際的な医学に帰るべきであると考えるとともに、実証を重んじる人々が現れたのである。このような医者や古方家といい、彼らの唱えた医学を古医方といった。

延享から宝暦年間にかけて京都に二人の古方家の大家が現れた。一人は吉益東洞、もう一人は である。 は、漢方医学が説く人体の内部構造に年来疑問を持っていたため、弟子の小浜藩侍医小杉玄適が京都で刑死体の腑分けをする際に、彼に同行し、観察記録の『蔵志』を著した。これが日本最初の人体解剖図譜である。このとき は、自分が所持していた西洋解剖学の書物の人体解剖図の正確さを検証したと考えられている。

ところで、この腑分けを許したのは、ときの京都所司代を務めていた、同じ小浜藩の藩主酒井讃岐守忠用であった。杉田玄白も同じく小浜藩の侍医であり、小杉玄適から腑分けの話を聞いていた。自分も腑分けに立ち会いたいと望んでいた杉田玄白は、のちに中川淳庵や と共に江戸の小塚原でその望みをかなえたのである。杉

田玄白は、自分が所蔵していた蘭語医書の人体解剖図の正確さにうたれ、三人でその医書の翻訳を志すことになったが、驚くべきことに偶然にも全く同一の本を [6] も所蔵していた。この医書翻訳事業によって蘭学は以後めざましく発展していくことになる。

すなわち、蘭学の発展には、一見無関係に見える古医方の展開も関係していたと考えられ、また小浜藩の存在が大きな役割を果たしていたと言えるのである。

オランダ語習得についていうなら、すでに当時江戸には将軍 [7] の命令でオランダ語を学習していた野呂元丈や [8] がいたこともあずかって力となった。事実 [6] は、小塚原で腑分けをする以前から [8] についてオランダ語の初歩を学んでいたのである。また長崎^③に行って勉強もしていた。

しかし隆盛を迎えた蘭学は、のちにシーボルト事件や蛮社の獄^④などにより幕府の規制を受けることになる。そのため蘭学は、それ以後は幕府の外交政策の批判や政治運動に表だって直接結び付くことはないまま、当初からそうであったように実学としての性格を強めていくことになるのである。

問1 文中の空欄 [1] ~ [8] に入るもっとも適切な氏名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 熊沢蕃山は経世済民の学を發展させ『経済録』などを著した。
- b 中江藤樹は知行合一の立場で現実を批判し『聖教要録』などを著した。
- c 山鹿素行は既成儒学を批判し『大学或問』を著したため赤穂に流された。

問3 下線部②に関連して、江戸時代の私塾名と設立者の組み合わせが以下に記されている。正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 洗心洞——大塩平八郎
- b 咸宜園——服部南郭
- c 芝蘭堂——稲村三伯

問4 下線部③に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 平賀源内は高松の人であったが，長崎に遊学したことがある。
- b 高島秋帆は長崎の人であったが，のちに幕府の砲術指南となった。
- c 緒方洪庵は長崎で学び，のちに大坂で鳴滝塾を開いた。

問5 下線部④に関連して，日本の対外関係に関連する出来事が以下に記されている。古いものから順番に正しく並べてあるものを，イ～チのなかから1つ選びマークしなさい。

- a 大黒屋光太夫が日本に送還された。
- b 高田屋嘉兵衛が日本に送還された。
- c 渡辺崋山が蛮社の獄で国元に蟄居を命じられた。
- d シーボルトが国外追放処分を受けた。

- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|---------|
| イ | d→c→a→b | ロ | c→a→b→d | ハ | a→b→d→c |
| ニ | b→d→c→a | ホ | d→b→a→c | ヘ | a→c→d→b |
| ト | b→a→c→d | チ | c→b→d→a | | |

問6 下線部④に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 渡辺崋山は『戊戌夢物語』を著した。
- b 高野長英は投獄されたが脱獄した。
- c 渡辺崋山や高野長英はアヘン戦争から危機感を持ち幕府の政策を批判した。

問7 以下のa～cは、江戸時代の学問思想に関する説明文である。それぞれ誰の学問思想と考えられるか、適切な人名をイ～へのなかから1つ選びマークしなさい。

- a 懐徳堂に学び、経典などは後世になるほど書き加えられる部分が増えるという加上説を主張し、仏教・儒教・神道を批判して誠の道を唱えた。
- b 算学・天文の私塾を開いていたが奥羽地方の飢饉の惨状を見聞後に経世論の書を著し、蝦夷地などの開発や貿易拡大、西洋の学問を学ぶ必要を説いた。
- c 室鳩巢の流れをくむ儒学者でありながら、西洋天文学の影響を受け、天地の間に通じる条理の学を唱え、唯物論的自然哲学を説いた。

イ 山片蟠桃 ロ ~~富永仲基~~ ~~ハ 本多利明~~ ニ 海保青陵
ホ 三浦梅園 ヘ 高野長英

III 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1・問5・問10は記述解答用紙に答えなさい。問2～問4、問6～問9はマーク解答用紙にマークしなさい。(40点)

ヨーロッパでは、ナチス=ドイツが積極的にヴェルサイユ体制の打破に乗り出して、1938年にオーストリアを併合し、さらにチェコスロヴァキアにも侵略の手を伸ばした。翌年、ドイツはソ連と独ソ不可侵条約を結び、ポーランドに侵攻した。これに対して、イギリスとフランスがドイツに宣戦布告し、ついに第二次世界大戦が始まった。ドイツはヨーロッパ諸国に侵入し、1940年にはフランスを降伏させた。

一方、ドイツは日本に軍事同盟を結ぶことを提案した。しかし、日本が満州国の国境をめぐるソ連と対立を深めているさなかに、突如として独ソ不可侵条約が結ばれたため、当時の 内閣は総辞職した。 内閣に続く 阿部信行・米内光政の両内閣はいずれも短命に終わり、その後、近衛文麿がふたたび軍部をはじめ各界の期待を受けて内閣を組織した。第2次近衛内閣は、アジアの資源確保のため、東アジアに新秩序を建設し、それによって国家防衛の体制を確立する方針を決定した。また、第2次近衛内閣は、フランスとオランダがドイツに敗北し占領下におかれたのを機会に、東南アジアへ南下する南進政策を推し進めるとともに、まだ参戦していないアメリカをけん制するために、ドイツ・イタリアと日独伊三国同盟を締結した。

三国同盟の締結以降、アメリカは対日姿勢をこれまでよりいっそう硬化させた。悪化した日米関係を打開するために、1941年4月以降、ワシントンで駐米大使 ・来栖三郎と国務長官ハルとの間に日米交渉がおこなわれた。他方で、 外相は日ソ中立条約を締結した。同年6月にドイツが突如ソ連に侵攻して独ソ戦争が始まると、翌月、日本は南方への進出と、ソ連との戦争にそなえることを決定した。日本の南進政策に対して、米英中蘭が対日経済封鎖を強めると、危機感をつのらせた軍部は、こうした対日包囲網に対抗するには開戦しかないと主張した。

1941年9月6日の御前会議で、日米交渉の継続と、10月上旬までに日米交渉がまとまらない場合、対米(英・蘭)開戦にふみきることが決定された。しかし、アメリカとの交渉が進まないまま10月を迎え、近衛内閣は退陣し、陸軍大将 が首相に就任した。軍部はすでに開戦を決意し、その準備を着々と進めていた。11月5日の御前会議は、12月初頭の開戦を決意した。アメリカ側は、11月26日に最終提

案をおこなったが、交渉成立は絶望的だった。こうして、12月1日の御前会議は開戦を決定した。

12月8日、日本軍はマレー半島とハワイの真珠湾を奇襲攻撃するとともに、アメリカとイギリスに宣戦布告した。同日、アメリカ・イギリスも対日宣戦布告をおこない、11日にはドイツ・イタリアが三国同盟に従い、アメリカに宣戦布告した。こうして第二次世界大戦は全世界的な規模に拡大した。しかし、太平洋での戦況は不利になり、日本は次第に敗戦へと追い込まれていった。^⑧

問1 文中の空欄 ~ に入るもっとも適切な氏名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 第一次世界大戦の講和会議はパリで開かれ、アメリカ大統領と英・仏・伊首相に加え、日本からは原敬首相が参加した。
- b 講和会議で締結された条約によって、日本は赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を得た。
- c 講和会議で締結された条約は、ドイツ側に巨額の賠償金を課し、軍備を制限し、ドイツ本国領土の一部を割譲させるものであった。

問3 下線部②に関連するものにはイ、そうでないものにはロをマークしなさい。

- a 盧溝橋事件
- b 張鼓峰事件
- c ノモンハン事件

問4 下線部③に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 阿部信行内閣は，激変した欧州の情勢に対応できず，欧州の情勢は「複雑怪奇」と声明して総辞職した。
- b 阿部信行内閣は，ドイツとの軍事同盟には消極的で，ヨーロッパの戦争には不介入の方針をとり続けた。
- c 米内光政内閣は，当初大戦不介入の方針をとっていたが，ヨーロッパにおけるドイツの快進撃を好機として，ドイツとの提携強化と南進を決定した。

問5 下線部④に関連する下記の文章の空欄 ～ に入るもっとも適切な語を漢字で答えなさい。

は，第2次近衛内閣以来のアジア政策を示すスローガンであり，欧米の植民地支配からアジアを解放し，そこに日本を中心とする共存共栄の新秩序を建設しようとするものである。朝鮮では，日本語の使用や神社参拝の強制，姓名を日本式にあらためさせる を強制するなど，植民地の民族性を否定し，あらゆる面で日本への同化を強制する 政策が実施された。さらに，1943年には がしかれ，多くの人々が戦線に送られた。

問6 下線部⑤に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 日本に通商航海条約の破棄を通告した。
- b 在米日本資産を凍結した。
- c 石油の対日輸出を禁止した。

問7 下線部⑥に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 関東軍特種演習の名目で兵力を満州とソ連の国境に動員してソ連侵攻の機をうかがった。
- b 戦略物資の開発・調達のために、南部仏印に進駐し、航空・海軍基地を設定した。
- c 天皇出席の御前会議で、南進も北進もおこなえるように準備するという「帝国国策遂行要領」を決定した。

問8 下線部⑦の提案にあたるものにはイ、そうでないものにはロをマークしなさい。

- a 満州をのぞく中国からの日本軍の撤退
- b 蒋介石政権と汪兆銘政権の合流を条件としたアメリカの日中和平斡旋
- c 仏印からの日本軍の撤退

問9 下線部⑧に関連して、次のA～Dの出来事を年代順に正しく配列したものを、下のa～dのうちから1つ選びなさい。

- A マリアナ諸島のサイパン島陥落
- B 米軍のB29戦略爆撃機による東京大空襲
- C 米軍の沖縄本島上陸
- D ミッドウェー海戦で日本海軍が大敗

- a D→A→C→B
- b D→A→B→C
- c A→D→B→C
- d A→D→C→B

問10 下線部⑨に関連して、1945年7月に発表されたポツダム宣言は日本に何を勧告したか、また、それを黙殺した日本政府が最終的にその受諾を決定したのは、どのように解釈することにしたからか、100字以内（句読点を含む）で述べなさい。

